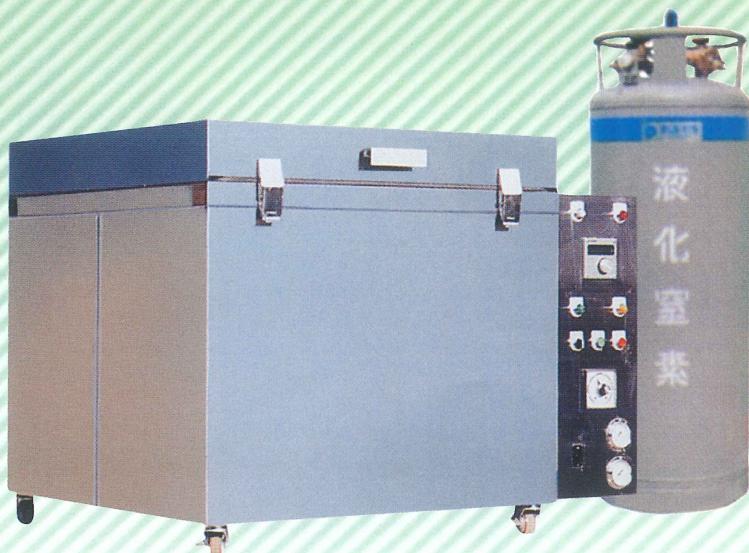


液化ガスまたは液化炭酸ガスの気化潜熱を利用して常温から-150℃までの温度調節を行うことができます。
<サブゼロ処理><冷やしばめ><低温マイナス試験>等々に使用されています。

超低温サブゼロ装置 CT型



■ CT型の特徴

- CT型は常温から-150℃まで任意に温度設定でき、自動で温度制御を行います。
- 液化窒素ガスまたは液化炭酸ガスの気化潜熱を利用していますので、電気的な冷却装置と比較して短時間にて冷却できます。

LN₂(液化窒素ガス)の場合 最大 -150℃まで

LCO₂(液化炭酸ガス)の場合 最大 -80℃まで

LN₂使用量計算式

<初回槽内冷却必要量> + <断熱面からの侵入熱による冷却必要量> + <処理品の冷却必要量>

- 焼入れした鋼(金型、刃物、ゲージ等)を-70℃~-150℃の低温に保持し、残留オーステナイトをマルテンサイト化します。硬度増加、時効変型の防止、寸法の安定化、耐摩耗性の向上、着磁性の向上に効果があります。
- 均一な庫内温度のために、攪拌ファンを装備することができます。(オプション)
- ヒーターを装備して霜取りを行うとともに、サブゼロ後の低温焼戻し(180℃)を連続的に行うこともできます。(オプション)

